

水産資源委託調査

澤田兼造・富永武治・中田凱久

発表誌名

昭和56年度，沿岸重要資源委託調査結果報告書

抄録

1. 漁況

(1) 沿岸重要魚種漁獲量（県統計）

本年1月から10月までの沿岸重要魚種の県総漁獲量は328,630.3トン，昨年同期（405,883トン）の80.9%であった。

(2) マイワシ

本年1月から10月までの漁獲量は189,824トンで，昨年同期（117,670トン）の1.6倍であった。

(3) ウルメイワシ

昭和36年をピークとして漸減状態にあり，昨年同様皆無であった。

(4) カタクチイワシ

本年1月から10月までの漁獲量は14.2トンで，昨年同期（500トン）の2.8%であった。

(5) マアジ

本年1月から10月までの漁獲量は5トンで，昨年同期（2.43トン）の2倍であった。

(6) スルメイカ

本年1月から10月までの漁獲量は86,625トンで，昨年同期（43,299トン）の2倍であった。

(7) マサバ

本年1月から10月までの漁獲量は100,518トンで，昨年同期（201,086トン）の50%であった。

2. 魚体調査

(1) マイワシ（後潟）

a 体長 11.0～24.5cmの範囲に分布しモードは9月の14.0cmが最大で，11月の11.0cmが最小。

b 体重 15～170gの範囲に分布。

c 肥満度 9.0～15.5の範囲に分布。

d 生殖腺

5月から6月までは，平均3g以上のものが出現し，最高は7.2gで，7月以降は0.1g以下の個体が多く出現している。

e 年 令

5月から6月までは2～3才魚の出現が多く見られ、7月から1才魚の出現が多くなった。

(2) カタクチイワシ (後潟)

a 体 長

6.0～13.5cmの範囲に分布し、モードは11月の8.5cmが最大で、12月の6.0cmが最小。

b 体 重 2～20gの範囲に分布。

c 肥 満 度 7.0～10.5の範囲に分布。

d 年 令 11月と12月調査したが、すべて1才魚であった。

(3) マアジ (後潟)

本年も昨年同様魚体調査するほどまとまった漁がなかった。

(4) スルメイカ (後潟)

本年は魚体調査するほどまとまった漁がなかった。

(5) マサバ (後潟)

a 体 長 19～23cmの範囲に分布し、モードは22cmにあった。

b 体 重 70～130gの範囲に分布。

c 生 殖 腺

若令魚で雌雄不明の個体だけであった。生殖腺についても若令魚で不明であった。

d 年 令

1～2才の範囲で1才の個体が多かった。